苫小华	女工業高等	等専門学校	交	平成31年度 (2	2019年度)	授	業科目	国語Ⅲ(機械系)		
科目基礎		*3 *3 * 3 * 3	100210 100	.   1 /3/40 = 1 /3/4		,,,,,				
4日番号		0047		科目区分	一般 / 必修		多			
受業形態		授業		単位の種別と単位						
開設学科		創造工学	科 (一般科目)	対象学年	3					
開設期		通年		週時間数	2					
教科書/教	材	『高等学	校現代文 B [改訂	参考図書は適宜紹定	図書は適宜紹介する					
旦当教員		蓼沼 正	蓼沼 正美							
到達目標	Ę									
2、文学的	な文章に	ついて、その	D登場人物、情景、	を捉えることができ 心情などを捉えるこ )表現上の特色を捉え	とができる。					
レーブリ	リック									
				ノベルの目安(優)	標準的な到達レイ		. ,	未到達レベルの目安(不可)		
1、論理的な文章について、その論理の展開や要旨を捉えることができる。			) 論理的な文章( の展開や要旨を ができる。	こついて、その論理を的確に捉えること		旨をある程度的確に捉		論理的な文章について、その論理の展開や要旨を的確に捉えることができない。		
2、文学的な文章について、その 登場人物、情景、心情などを捉え ることができる。			<ul><li>文学的な文章( え 人物、情景、i えることができ</li></ul>		人物、情景、心	文章について、その登場 景、心情などをある程度 えることができる。		文学的な文章について、その登場 人物、情景、心情などを的確に扱 えることができない。		
3、語句の意味、用法を理解し、 語句 文体や修辞などの表現上の特色を や修			語句の意味、月	用法を理解し、文体 長現上の特色を的確	語句の意味、用え や修辞などの表現 程度的確に捉える	見上の特	色をある	語句の意味、用法を理解し、文体 や修辞などの表現上の特色を的確 に捉えることができない。		
		 頁目との関		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	122272	<i>3</i> <b>C</b> <i>n</i>		1-36-60-60-60-60-60-60-60-60-60-60-60-60-60		
<del>」   1922</del> 教育方法		XII C VIA	31//							
概要	7.43	近代以 豊かにす 上を図る	【降の様々な文章や 「る態度を育てる。 3態度を育てる。	作品を読解し鑑賞す また、言語文化に対	る能力を高めると する関心を深め、	ともに、言語感覚	ものの見え	方、感じ方、考え方を深め、人生を し、積極的に国語を尊重してその向		
授業の進め	方・方法	評価に   前期成績	こついては、中間試 責及び学年末成績が	斉授業の形態を取る 験40%、定期試験40 60点未満の場合は、 、60点を上限とする	0%、提出課題等2 再試験を実施する	0%の割	合で評価で	時間を設定する。 する。合格点は60点である。なお、 、再試験を受けた場合の成績は、f		
注意点		教科書 ず授業前	i、ノートは毎時間 nに目を通しておき	、国語便覧、国語辞 、授業後は教授され	書等は、必要に応 た内容を確認しな;	じて適宜 がら、再	重準備をする 度教材に	る。授業で扱う教材については、必 あたっておくようにすること。		
受業計画	Į .	1.	I							
		週	授業内容				の到達目標	•		
		1週	論理的表現(評論	Jエンテーション E的表現(評論)を読む 『なぜ』に答えられない科学」(池内		授業の目的・方針等を理解する。 語句の意味、用法を理解し、的確に使うことがで 。				
		2週	「『なぜ』に答え	「『なぜ』に答えられない科学」(池内			文章を読んでものの見方、感じ方、考え方を深めるこ とができる。			
		3週	「『なぜ』に答え	られない科学」(池	内了)	文章を読んでものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。				
	1stQ	4週			内了)	文章の構成や展開に注意して、主題や要旨を捉えることができる。				
		5週	「猫は後悔するカ (野矢茂樹)		語句の意味、用法を理解し、的確に使うことができる  。					
		6调	「猫は後悔するか」			文章を読んでものの見方、感じ方、考え方を深めるこ				

		週	授業内容	週ごとの到達目標		
		1週	オリエンテーション 論理的表現(評論)を読む 「『なぜ』に答えられない科学」(池内了)	授業の目的・方針等を理解する。 語句の意味、用法を理解し、的確に使うことができる。		
		2週	「『なぜ』に答えられない科学」(池内了)	文章を読んでものの見方、感じ方、考え方を深めるこ とができる。		
		3週	「『なぜ』に答えられない科学」(池内了)	文章を読んでものの見方、感じ方、考え方を深めるこ とができる。		
	1stQ	4週	「『なぜ』に答えられない科学」 (池内了)	文章の構成や展開に注意して、主題や要旨を捉えるこ とができる。		
		5週	「猫は後悔するか」 (野矢茂樹)	語句の意味、用法を理解し、的確に使うことができる。		
		6週	「猫は後悔するか」 (野矢茂樹)	文章を読んでものの見方、感じ方、考え方を深めるこ とができる。		
		7週	「猫は後悔するか」 (野矢茂樹)	文章の構成や展開に注意して、主題や要旨を捉えるこ とができる。		
		8週	中間試験	これまでの授業内容を確認する。		
前期		9週	文学的表現(小説)を読む 余裕派及び夏目漱石について	余裕派及び夏目漱石について理解することができる。		
<b>月</b> リチカ		10週	『こころ』(夏目漱石)	文学的な文章について、それを展開する上での語句の 意味、用法を的確に理解することができるとともに、 登場人物のものの見方、感じ方、考え方を理解するこ とができる。。		
	2ndQ	11週	『こころ』(夏目漱石)	文学的な文章について、それを展開する上での語句の 意味、用法を的確に理解することができるとともに、 登場人物のものの見方、感じ方、考え方を理解することができる。。 。		
		12週	『こころ』(夏目漱石)	文学的な文章について、それを展開する上での語句の 意味、用法を的確に理解することができるとともに、 登場人物のものの見方、感じ方、考え方を理解することができる。。 。		
		13週	『こころ』(夏目漱石)	文学的な文章について、それを展開する上での語句の 意味、用法を的確に理解することができるとともに、 登場人物のものの見方、感じ方、考え方を理解することができる。。		

					1		
		14週	『こころ』(夏目漱石)		文学的な文章について、それを展開する上での語句の 意味、用法を的確に理解することができるとともに、 登場人物のものの見方、感じ方、考え方を理解するこ とができる。。		
		15週	『こころ』(夏目漱石)		文学的な文章について、それを展開する上での語句の 意味、用法を的確に理解することができるとともに、 登場人物のものの見方、感じ方、考え方を理解するこ とができる。。		
		16週					
後期	3rdQ	1週	『こころ』(夏目漱石)		文学的な文章について、それを展開する上での語句の 意味、用法を的確に理解することができるとともに、 登場人物のものの見方、感じ方、考え方を理解することができる。。 。		
		2週	『こころ』(夏目漱石)		文学的な文章について、それを展開する上での語句の 意味、用法を的確に理解することができるとともに、 登場人物のものの見方、感じ方、考え方を理解することができる。。 。		
		3週	『こころ』(夏目漱石)		文学的な文章について、それを展開する上での語句の 意味、用法を的確に理解することができるとともに、 登場人物のものの見方、感じ方、考え方を理解することができる。。		
		4週	『こころ』(夏目漱石)		・ 文学的な文章について、それを展開する上での語句の 意味、用法を的確に理解することができるとともに、 登場人物のものの見方、感じ方、考え方を理解することができる。。		
		5週	『こころ』(夏目漱石)		文学的な文章について、それを展開する上での語句の 意味、用法を的確に理解することができるとともに、 登場人物のものの見方、感じ方、考え方を理解するこ とができる。。		
		6週	『こころ』(夏目漱石)		文学的な文章について、それを展開する上での語句の 意味、用法を的確に理解することができるとともに、 登場人物のものの見方、感じ方、考え方を理解するこ とができる。。		
		7週	『こころ』(夏目漱石)		文学的な文章について、それを展開する上での語句の 意味、用法を的確に理解することができるとともに、 登場人物のものの見方、感じ方、考え方を理解するこ とができる。。		
		8週	中間試験		これまでの授業内容を確認する。		
	4thQ	9週	論理的表現(評論)を読む 「である』ことと『する』こと」(丸	山真男)	語句の意味、用法を理解し、的確に使うことができる。		
		10週	「である』ことと『する』こと」(丸	山真男)	文章を読んでものの見方、感じ方、考え方を深めるこ とができる。		
		11週	「である』ことと『する』こと」(丸	山真男)	文章を読んでものの見方、感じ方、考え方を深めるこ とができる。		
		12週	「である』ことと『する』こと」(丸	山真男)	文章を読んでものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。		
		13週	「である』ことと『する』こと」(丸山真男)		文章を読んでものの見方、感じ方、考え方を深めるこ とができる。		
		14週	「である』ことと『する』こと」(丸	山真男)	文章を読んでものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。		
		15週	「である』ことと『する』こと」(丸山真男)		文章の構成や展開に注意して、主題や要旨を捉えることができる。		
		16週					
評価割合							
			中間・定期試験	課題	合計		
総合評価割	総合評価割合 80 20				100		
一般的能力	一般的能力 80 20				100		